



広報誌

平塚市民病院

地域医療支援病院 災害拠点病院 神奈川県がん診療連携指定病院

Vol.46
Spring 2024

私たちは、市民の健康を守り、地域医療に貢献します

SMILE!

~毎日笑顔で~ スマイル



撮影場所:珠洲市総合病院

特集 DMAT隊員(災害派遣医療チーム)の 能登半島地震での活動報告

①②

令和6年度 着任した医師を紹介します

新年度のごあいさつ 病院長

③④

看護のこころ Vol.18 「採用時研修」

⑤

健康スマイルレシピ Vol.13 「かながわ御膳」はじめました♪

⑥

市民健康講座のご案内

⑦

DMAT隊員(災害派遣医療チーム)の能登半島地震での活動報告

令和6年1月1日(月)午後4時10分に石川県能登地方で最大震度7の大きな地震が発生しました。地震発生から約20分後には神奈川県のDMAT隊本部からの待機要請が当院にも入りましたが、石川県近隣の都府県から順次出動したこともあり、発生から10日が経過した1月11日に当院のDMAT隊4名(医師1名・看護師2名・医療技師1名)が出動し、現地での5日間の活動を経て、18日に帰還しました。

・出動までの準備

出動要請を受け、まずは出動の準備をしました。被災地での活動に必要な点滴や薬剤などの医療資機材のほか、現地で調達できない自分たちの食料や着替え(5日分)などを車に積み込みました。

・被災地までの道のり

現地までは車で2日かけての移動になりました。石川県内の道路状況は非常に悪く、通行止めの道路も多くありました。それに加え、被災地に向かう多くの車両による渋滞のため、石川県内の移動だけで7時間以上をかけて活動場所である石川県珠洲市に到着しました。



持参品を積んだDMAT車内



車窓からの様子

DMAT隊 藤崎消化器外科部長

DMAT隊本部からの指示に従い、能登半島の最先端にある石川県珠洲市の珠洲市総合病院に入りました。この病院は、珠洲市唯一の総合病院ですが、当然ながら被災していました。電気はすでに復旧していましたが、生活に必要な水や医療に必要な物資は自衛隊が毎日運んで来ていました。そのような状況ですので、本来総合病院で提供できるはずの外科手術やカテーテル治療、腎臓病の方への血液透析などは行うことができません。また、現地の医師や看護師、病院職員も被災者ですが、休むこともできずに働いていました。我々は、地域住民が頼りにしている珠洲市総合病院の機能が維持できるよう、急患の患者さんの診療に当たったり、入院患者さんの転院先を探して転院搬送に付き添ったり、物資の搬送、仕分けなどの活動により病院の支援を行いました。5日間泊まり込みでの業務となり、かなりハードでしたが、日頃の訓練の成果を発揮でき、被災地の方々への支援ができたと思っています。



処置中



DMAT車

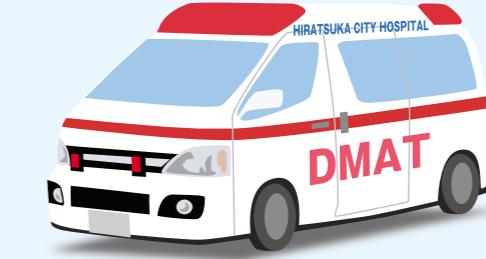


診察中



待機場所

DMAT隊について詳しくは、病院ホームページをご覧ください。



DMAT隊 米山看護師・南部看護師

・入院患者さんの転院搬送

緊急救援隊の救急隊、藤崎医師と共に、入院患者さん1名を金沢市内の病院に搬送しました。平時の搬送と異なり、悪路で車内の環境は体調が悪化してもおかしくない状況です。私たちは、様々な想定をし、患者さんの状態の変化に対応するために薬品や物品の準備をしていますが、今回は、最大限の注意を払いながら3時間以上かけて無事に搬送先の病院に到着しました。搬送先からの帰路では、余震による緊急停車や雪によるチェーン規制等の渋滞もあり8時間を要しました。



搬送中



環境整備

・働きやすい環境整備のため物品の整理整頓

DMAT隊員が待機する場所ではとても多くの物品、衛生材料が雑然と置かれており、非常に使いにくい状況でした。そこで、「物品の見える化」を開始。物品をカテゴリーに分け整理し名前を表示、リスト化した書類をDMAT本部へ提出し共有しました。最初は一人でやり始めましたが、他病院の隊員の協力もあり、短時間で整理でき活用しやすくなりました。



寝袋での就寝

・活動中の生活環境

今回は被災地の病院で活動しました。電気は復旧していましたが、水は毎日自衛隊がタンクに補充していたため、使用に制限がありました。食事はカップ麺など簡易的なものがメインで、お風呂には入れず、床の上に寝袋で寝るという日々を過ごしました。活動場所によってはトイレが流せなかったり、車中泊をしなければならない場所もあったそうです。

DMAT隊 山田放射線技師

私は業務調整員として活動しました。「業務調整員」とは医療チームが活動しやすいように、スタッフの食料や生活に必要な物資の確保、活動環境の整備、活動に必要な連絡、調整、情報収集といった医療行為以外の業務を担う存在です。



業務調整中

今回主にDMAT支援指揮所の本部内で、転院搬送するために必要な連絡、調整や、病院に必要な物資を調達するため流通の確保などの活動をしました。トラブルや混乱が起きないように、「いつ、誰から、誰に、どのような内容で」という時系列の記録(クロノロジー)をするなど、平時に重ねた訓練が現地での活動に活かされました。被災病院では物資がなかなか届かないという問題がありましたが、連携先をはっきりさせ、流通を再構築することで、その問題を解決することができました。

被災者でもある現地医療従事者を支える

現地の医療従事者も被災者です。看護師から「仕事が終わって避難所に帰っても避難所の人から健康相談、手伝いなどやる事が多くて休める場所がない。」と表情から心労がうかがえました。現地の医療従事者は家族や自分自身の事に不安を抱きながらも、守るべき患者さんのために使命を果たしていました。私たちDMAT隊は数日の派遣でしたが、被災者はもちろん、医療従事者の負担軽減のために“できる事は何でもやろう”という意識を持って活動してきました。今後もこの思いは変わりません。被災者のために“今できる事”を考え、これらからも活動していきます。



令和6年度 着任した医師を紹介します

新体制で
スタートします!

当院では新たに34人の医師と13人の初期臨床研修医を迎える、新年度を無事にスタートさせることができました。受診する病院の医師が異動することは患者さんやご家族にとって不安を感じるものと思いますが、しっかりととした引継ぎによって切れ目のない診療を継続してまいります。私自身は在職26年目となる本年4月より病院長職を拝命し、ここにご紹介いたします面々同様、新たな気持ちで取り組む決意であります。

今年度勤務する医師数は前年度よりも約13名増えました。これは市民の健康を守り、地域医療に貢献するという当院の理念の実現に必要な力が増加するための根幹となるものです。さらに、人数の増加のみでなく、専門性の高い高度な医療を実践することのできるメンバーが着実に成長し、増加してきています。医師の働き方改革を適切に進めつつ、全職員が一丸となって理念を実現していくことのできるようリードしていくことが私に課せられた使命であると考えています。

平塚・中郡地域内の医療機関の方々とこれまで以上に連携を深め、地域の住民の方々が安心して受診できるような病院を目指します。どうぞよろしくお願ひいたします。



本年度着任した、34名の医師を紹介します。
平塚市民病院の一員として、“市民の健康を守り、地域医療に貢献する”医療を提供してまいります。



看護のこころ

Vol. 18

はじめまして! 看護職としての第一歩

採用時研修

今年度は49名の新卒看護師・助産師が入職しました。新しい環境に喜びと期待、不安な思いを持ちつつ、素敵な笑顔が咲きました。これから始まる看護の実践にひとり一人が患者さん・ご家族に思いやりをもった看護を提供したいと決意しました。皆さん、よろしくお願いします。



看護部長あいさつ

看護部は新採用者54名を迎え、さらに副看護部長2名と看護科長2名が新たな役割を担うことになりました。新旧の職員が一丸となり、病院理念である「わたしたちは、市民の健康を守り、地域医療に貢献します」ということを看護サービスとして提供できるように努めてまいります。

今年度は、市民病院の役割の1つである政策的医療に貢献するため、医療的ケア児に対する支援として、保育課に看護師1名を出向させることを決めました。これまで、健康課に助産師2名の出向を行なうなどしてまいりましたが、これからも院内だけでなく「看護の手」を地域医療に行き渡らせる勤めを積極的に果たしていきたいと考えております。

そして、「患者さんの思いに寄り添う」ということを大切にする看護職の育成に励んでまいります。



看護部長 稲村ほづみ

詳しい活動や採用情報は看護部ホームページへ

平塚市民病院 看護部

検索



健康スマイルレシピ Vol. 13

当院の管理栄養士監修! 「かながわ御膳」はじめました♪

管理栄養士：菅谷稚夏

当院では令和5年度から、神奈川県産の食材を使った「かながわ御膳」(地産地消の食事)の提供を始めました。

地産地消の食事は輸送エネルギーの削減で地球に優しく、新鮮な食材で、作る人にも食べる人にも嬉しい地元愛あふれるメニューです。今回は、1月に初めて提供した「かながわ御膳」の献立を紹介します。

付け合わせ
三浦産
キャベツ

かながわ御膳

果物
小田原産
みかん

しょうが焼き
神奈川県産
豚肉
やまゆりポーク



ふろふき大根
三浦産
大根

おひたし
秦野産
ほうれん草

患者さんに喜んでいただき、好評でした!

栄養価
(1食分)

エネルギー521kcal たんぱく質17.7g 脂質13.3g
炭水化物76.4g 食塩相当量2.6g

他にも! このようなメニューを提供しています

七夕の行事食(そうめん)



季節の果物



病院の食事が入院生活の彩りに、また患者さんの治療の一助になるよう、美味しい、身体に良い、患者さんに喜んでいただけるメニューを日々考案・提供しています。



お知らせ 市民健康講座を開催します

当院では、病気や医療について知識を深め、健康増進・維持に役立てるよう、地域の皆さんがあ
気軽に参加いただける『平塚市民病院 市民健康講座』を開催します。

開催日	テーマ(予定)	時 間	会 場
第1回 令和6年6月8日(土)	気をつけたい肩、膝の病気	開場：13時30分 講演：13時40分から 15時30分まで	ひらしん 平塚文化芸術ホール
第2回 令和6年8月31日(土)	気をつけたい心臓の病気		
第3回 令和7年1月25日(土)	気をつけたい泌尿器科の病気		
第4回 令和7年3月8日(土)	未定		

講座の詳細やお申し込みについては、広報ひらつか、当院のホームページでご確認ください。

地図・交通アクセス

【路線バスをご利用の方】

□JR東海道線 平塚駅北口からバスで15分

平21、22、26、77金田公民館行き、市民病院行き、
市民病院経由東海大学行き、市民病院経由高村団地行き
「市民病院前」下車 運賃:現金、ICカード240円

□伊勢原方面から平塚駅行「中原下宿」バス停下車、ヘルシーロード徒歩約20分

□秦野方面から平塚駅行「南原」バス停下車、徒歩約10分

【シャトルバス】

□市内神田地区から市民病院へ便利なシャトルバスも運行しています。

[運行日]市民病院外来診療日

[運休日]土曜日、日曜日、祝日及び年末年始(12月29日から1月3日)

[運 費]大人…1乗車260円

小学生、割引運賃適用者(※)…130円

未就学児…無料

現金 前払い(回数券、ICカードは使えません。)

※身体障害者手帳または療育手帳をお持ちの方と、その介護者の方

【車をご利用の方】

□午前は、大変混雑しますので、できるだけ公共交通機関をご利用ください。

□信号「平塚市民病院入口」から進入してください。

□外来駐車場(有料)

[利用時間]午前7時00分～午後7時30分

[料 金]外来患者…入場後30分無料、同90分100円、以降すべて200円

一般…入場後30分無料、同90分100円、以降1時間ごとに
100円加算(面会含む)

交通系電子マネーでの支払いが可能です。



Hiratsuka City Hospital



平塚市民病院

救命救急センター 災害拠点病院 地域医療支援病院
神奈川県がん診療連携指定病院

〒254-0065 神奈川県平塚市南原1-19-1

TEL : 0463-32-0015 FAX : 0463-31-2847

URL : <https://www.hiratsuka-city-hospital.jp/>

初診受付時間：午前8:30～11:00(初診及び予約外の方)

休診日：土曜日・日曜日・祝日 年末年始(12月29日～1月3日)

